

令和7年4月1日

関係各位

熊本大学大学院教育学研究科長

藤田 豊

[公印省略]

教員の公募延長について（依頼）

謹啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

熊本大学では下記の要領により教員の公募をしておりましたが、公募期間を延長することといたしました。

つきましては、関係者への周知について、よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。

なお、本件では、教員が自立して教育研究を推進できる環境を整備し、将来リーダーとなる教員の育成を目的とした公正で透明性の高い人事制度であるテニュアトラック制を実施します。この制度では、教員（テニュアトラック教員：任期あり）を公募により採用し、メンターを配置するなど教育研究活動を支援します。採用後一定期間経過した後に審査を実施し、テニュア（任期なし）の付与の可否を決定します。

今回の公募に関連する本学教育学部附属学校国際クラスについての概要は、ホームページ（<https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp/kokusai/>）で紹介しておりますので御覧ください。

謹白

記

- 1 職名及び人員 教諭職6名程度（発令上は大学院教育学研究科：テニュアトラック講師）
- 2 勤務校 教育学部附属小学校
- 3 担当教科等 小学校全教科等（イマージョン教育実施のため、英語で授業等を行う。ただし、国語と道徳については日本語にて授業を行う。）
※教育活動に当たっては、ネイティブの担当と2人体制での指導を原則とする。なお、イマージョン教育実施教科等については変更もありうる。
※小学校国際クラスの学級担任として教育活動に当たる。また、教育学部附属小学校において学校全体に係る校務分掌や教育実習指導等も担当する。
※研究活動に当たっては、教育に関する研究会や研究発表会（附属学校内のものを含む）において、公開授業や国際クラスでの実践成果の発表等を行う。
- 4 採用予定時期 令和7年10月1日（※相談に応じます）
（採用後は熊本市又はその周辺に居住すること。）

5 応募資格条件

- (1) 小学校教諭免許状を有すること（中学校教諭免許状も有することが望ましい。）
- (2) 小学校の教諭として5年以上の教職経験があること（小学校において複数学年の学級担任の教職経験があることが望ましい。）
- (3) イマージョン教育に関心があり、教育実践及び教育研究の遂行に意欲があること
- (4) 学級経営、学習指導、生徒指導、校務分掌や保護者対応等に積極的に取り組めること
- (5) 外国籍を含む全ての児童に対する教育的愛情をもつとともに、教育実習、教育研究の遂行に意欲があり、附属学校の使命を理解していること
- (6) 組織の一員として主体的に、協働しながら学校運営へ参画できること
- (7) CEFR B2レベル以上の英語力を有すること（CEFR C2レベル以上の英語力を有することが望ましい。）

6 労働条件等

- (1) 職務内容 （雇入れ直後）教育学部附属小学校における教育実践・研究業務（特に国際クラスにおけるもの）及びそれに附帯する業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務
- (2) 勤務場所 （雇入れ直後）熊本大学教育学部附属小学校
（変更の範囲）熊本大学の定める範囲
- (3) 勤務形態 一年単位の変形労働制
- (4) 任期の定め あり 採用後原則5年間
（ただし、労働基準法第14条第1項に規定する専門的知識等を有する労働者又は満60歳以上の労働者に該当しない場合は、3年の任期の後に雇用契約を2年間更新する。当該更新に当たり審査等を行わない。）
また、テニユアトラック制度により、採用3年経過後に中間評価を行い、採用4年経過後にテニユア審査を行います。審査の結果テニユアの資格があると認められた場合は任期の定めのない職員となります。
- (5) 定 年 65歳
- (6) 試用期間 6か月
- (7) 時間外労働 時間外、深夜、休日労働の有無：有
- (8) 休日・休暇 国立大学法人熊本大学職員の勤務時間、休暇等に関する規則に定めるところによる
- (9) 賃 金 等 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる
※賞与を含む年間収入(教員等としての実務経験が概ね8年程度の場合)：530万円程度
- (10) 社会保険 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入
- (11) 雇 用 者 国立大学法人熊本大学
- (12) そ の 他 人事交流等により熊本県教育委員会、熊本市教育委員会等へ出向する場合があります。

7 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付、別添同封の本学部所定の様式による）1通
※産前産後の休暇又は育児若しくは介護のための休業（以下「育児等という。」）を取

得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては、当該期間に相当する期間を教育歴（勤務年数）に含めます。

(2) 教員免許状の写し 1部

(3) 英語力を証明する資格試験等の証明書の写し 1部

(4) 以下のテーマについて、それぞれA4判1枚(2,000字程度)にまとめたもの

① これまでの担当授業(年度・学年・科目・単位数)及び校務分掌一覧

(1枚に収まらない場合は、直近年度を含む過去5～10年程度についてのみ記載)

② これまでの教育実践・研究の概要

③ 本職、本校への志望動機と抱負

8 応募締切日 令和7年4月30日(水) (必着)

9 選考方法 一次選考:書類による選考

二次選考:一次選考合格者を対象に面接及び模擬授業等による選考

10 応募書類送付先 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

熊本大学教育学研究科長 藤田 豊 宛

(注) 応募書類の封筒には「附属小学校国際クラス教員 応募書類」と朱書きの上、書留又は簡易書留郵便で送付すること。

11 照 会 先

【職務内容について】 熊本大学 国際クラス設置準備室

TEL (FAX) : 096-356-2492 (096-356-2499)

電子メール: kyo-kokusai@jimu.kumamoto-u.ac.jp

【応募について】 熊本大学 教育研究支援部人事・教育系事務課

TEL (FAX) : 096-342-2513 (096-342-2510)

電子メール: kyo-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

12 そ の 他

(1) 選考過程で面接を実施する場合は、旅費等必要経費は応募者負担とします。

(2) 提出書類は返却しません。希望があれば、着払いにて返却します。

(3) 熊本大学はダイバーシティを推進しています。選考に当たっては、男女共同参画社会基本法に則り、適正に行います。

(熊本大学ダイバーシティ推進室ホームページ <https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/>)

(4) 選考に当たっては、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条の規定に基づき、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

(5) 本学採用後、業績評価に関して、評価対象期間において、育児等を取得した者及び育児等のための短時間勤務を行った者に対しては、当該期間に相当する期間を遡及して評価対象期間に加えます。

(6) 現職が公立学校教員等である者に対しては、公立学校教員等の在職期間を

本学の在職期間として通算しませんので、現機関で退職金を受け取った後、本学で採用することとなります。

なお、現職が公立学校教員等である者のうち、熊本県及び熊本市の教員等であるものにあつては、熊本県及び熊本市と熊本大学の協定により教員の交流が行われていることから、原則として本公募の対象とはなりません。